

くんじゃい・しまむにプロジェクト

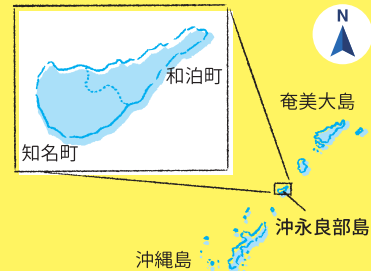
琉球沖永良部語ワークショップ参加者募集!

2019 2/10 (Sun) 13:00-16:00 (12:30 開場)

ワークショップ内容

日本には危機言語が少なくとも8つあると言われています。そのうちの1つの言語を話す島、奄美諸島沖永良部島 国頭集落の子ども達に、夏休み制作として、親子で「島のことば」に関する作品を作ってもらいました。彼らが作ったしりとり・レシピ・歌・踊りを通して、日本の中の言語の多様性を体験します。沖永良部島を舞台にした小説『神に守られた島』『神の島のこどもたち』の著者、中脇初枝さんのトークもあります!

[沖永良部(おきのえらぶ)島マップ]



「国際母語デー」(2月21日) 知っていますか?

世界には7000もの言語が話されているとされていますが、その約半数が消滅の危機にあるとされています。「国際母語デー」は、言語と文化の多様性、多言語の使用、そしてあらゆる母語の尊重の推進を目的として、1999年にユネスコが制定しました。沖永良部島のことば(しまむに)に直接触れる体験を通して、言語と文化の多様性について考えましょう。



プログラム

- ① 山田真寛・横山晶子(国立国語研究所)「くんじゃい・しまむにプロジェクトについて」
- ② 中脇初枝(小説家)「物語の生まれる島 沖永良部島」
--- 休憩 ---
- ③ 福島文子(国頭集落村づくり委員教育部会)「しまむにの継承〜国頭(くんじゃい)の取り組み紹介〜」
- ④ 田代和花・彩羽・雅・勇太・恵「方言しりとり」
- ⑤ 今井響・良喜・博美・優「あじとぅ つくゆぬ やせづけ(おばあちゃんと作る 大根漬け)」
- ⑥ 大栄風翠・希奄・讚一道・潮和・ひろみ・勝吾「あやとぅ やまだ(お姉さんと トンボ)」
唄と踊り
・やまだぬ みーかがん(トンボの 眼鏡)
・えらぶの子守歌
・国頭ヤッコ
- ⑦ 交流会(参加費:500円)



問い合わせ先:

横山晶子(よこやまあきこ) akikoyokoyama1110@gmail.com
国立国語研究所 Tel. 042-540-4300(代表)

参加費無料

開催場所:

- 国立国語研究所 2階多目的室(東京都立川市緑町10-2)
- JR中央線立川駅北口から徒歩20分
 - 多摩モノレール高松駅から徒歩5分

○ワークショップは以下の助成金を使用して行われます。

国立国語研究所(所長裁量経費・基盤型共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」)、科研費(17J04617「危機言語の継承に向けた実践的研究—琉球沖永良部語を事例に—」、16K16824「琉球諸語の記述と復興研究のためのプラットフォーム基盤構築研究」) 企画: 言語復興の港